

情報モラル/セキュリティ講演会（2025.2.19）

本校では、スマホを学校や寮に持ち込まない指導をしております。その一方で、情報化社会に対応すべく、2023年度よりChromebookを導入しています。Chromebookは授業や諸アンケート、模試の返却や入試出願手続き、課外活動等で活用されており、ICTによる活動の幅は確実に広がっています。しかし、それに伴うリスクや様々な情報モラルについて、「情報」の授業でも伝えてはおりますが、生徒が十分に理解できていないところもあります。そこで、生徒が安心して、そして安全にICTを活用するため、去る2月19日の4限に中学生を対象に、7限に高校生を対象に、それぞれ特別授業を実施しました。

今回は、ネットワークインフラやセキュリティを専門としているネットワンシステムズ株式会社様（東京）より、専門の講師2名をお招きし、高校生と中学生向けにテーマを変えて講演を行っていただきました。

中学生向けの講演では、インターネットを利用時にトラブルの被害者や加害者にならないために、青少年に多い①ネット依存、②ネットでの発信によるいじめや炎上、③ワンクリック詐欺について、具体的な事例と防止策を講義していただきました。講義の中で、基本的で重要なポイントをきちんと押さえていただきましたが、特に、パソコンの発信元やその属性が簡単に判明することを実演していただいて、「ネットは決して匿名では済まない」ことがよく伝わったと思われまます。

高校生向けの講演では、医療機関や社会インフラ、企業を狙うサイバー攻撃の実例を基に、情報セキュリティ対策や組織化された攻撃者の手法、また被害が発生した際の対処の流れについて講義していただきました。また、将来的にインターネットで発信する機会が増えることを考慮して、個人でできる情報漏洩対策やSNS利用の注意点についても詳しく説明していただきました。生徒諸君は熱心に聴講し、質疑応答でも生徒から「AIの発達で情報セキュリティを進める上でメリットとデメリットのどちらが大きいのか」など本質的な問いが寄せられました。

生徒諸君がこれからもインターネットに正しく関わることができるよう、継続的に指導してまいります。



写真 上段3枚と下段左 中学生対象講演風景

下段中 高校生対象講演 質疑応答風景

下段右 高校生対象講演 盛大な拍手が贈られました